

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成20年9月25日(2008.9.25)

【公開番号】特開2002-173041(P2002-173041A)

【公開日】平成14年6月18日(2002.6.18)

【出願番号】特願2001-272619(P2001-272619)

【国際特許分類】

F 1 6 H	55/08	(2006.01)
B 2 9 C	45/14	(2006.01)
B 2 9 C	45/33	(2006.01)
B 6 2 D	5/04	(2006.01)
F 1 6 H	1/16	(2006.01)
F 1 6 H	55/06	(2006.01)
F 1 6 H	55/22	(2006.01)
B 2 9 L	31/30	(2006.01)

【F I】

F 1 6 H	55/08	Z
B 2 9 C	45/14	
B 2 9 C	45/33	
B 6 2 D	5/04	
F 1 6 H	1/16	Z
F 1 6 H	55/06	
F 1 6 H	55/22	
B 2 9 L	31:30	

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】操舵補助用のモータの出力をウォームと、該ウォームに噛合し、少なくとも歯部が合成樹脂製であるウォームホイールとを介して舵取機構に伝え、操舵補助するようにした電動パワーステアリング装置において、前記ウォームホイールの歯部は、その歯底面が、前記ウォームの歯先円の直径、該歯先円との間の頂隙、及び前記ウォームとの噛み合い隙間の和と等しい直径を有する円弧となるように成形してあることを特徴とする電動パワーステアリング装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段及び発明の効果】

第1発明に係る電動パワーステアリング装置は、操舵補助用のモータの出力をウォームと、該ウォームに噛合し、少なくとも歯部が合成樹脂製であるウォームホイールとを介して舵取機構に伝え、操舵補助するようにした電動パワーステアリング装置において、前記ウォームホイールの歯部は、その歯底面が、前記ウォームの歯先円の直径、該歯先円との間の頂隙、及び前記ウォームとの

間の頂隙、及び前記ウォームとの噛み合い隙間の和と等しい直径を有する円弧となるように成形してあることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

第1発明にあっては、ウォームホイールの歯部は、ウォームの歯先円の直径寸法 + 頂隙 + 噛み合い隙間と等径の円弧形に形成した歯底面を有し、この歯底面がウォームの回転域の外縁に実質的に沿った円弧となるため、歯面の間の隙間を容易に適正な隙間とすることができます、ウォーム及びウォームホイールの歯面の接触面積を比較的多くすることができ、歯面の面圧を減少でき、耐久摩耗を発生し難くでき、耐久性を向上することができます。